

加していない

- 高齢者に関すること
 - ・高齢者の独り暮らし、二人暮らしが増えている
 - ・高齢者の交通手段（自分で車を運転しなくても済むように）
 - ・お隣の家の雨戸が閉まったままでいたら、訪ねていけるような関係があればよい
- 他地域に関すること
 - ・他地域との交流が少なく、何を実行しているのかわからない

【どうやってやろうか（プラン・提案）】

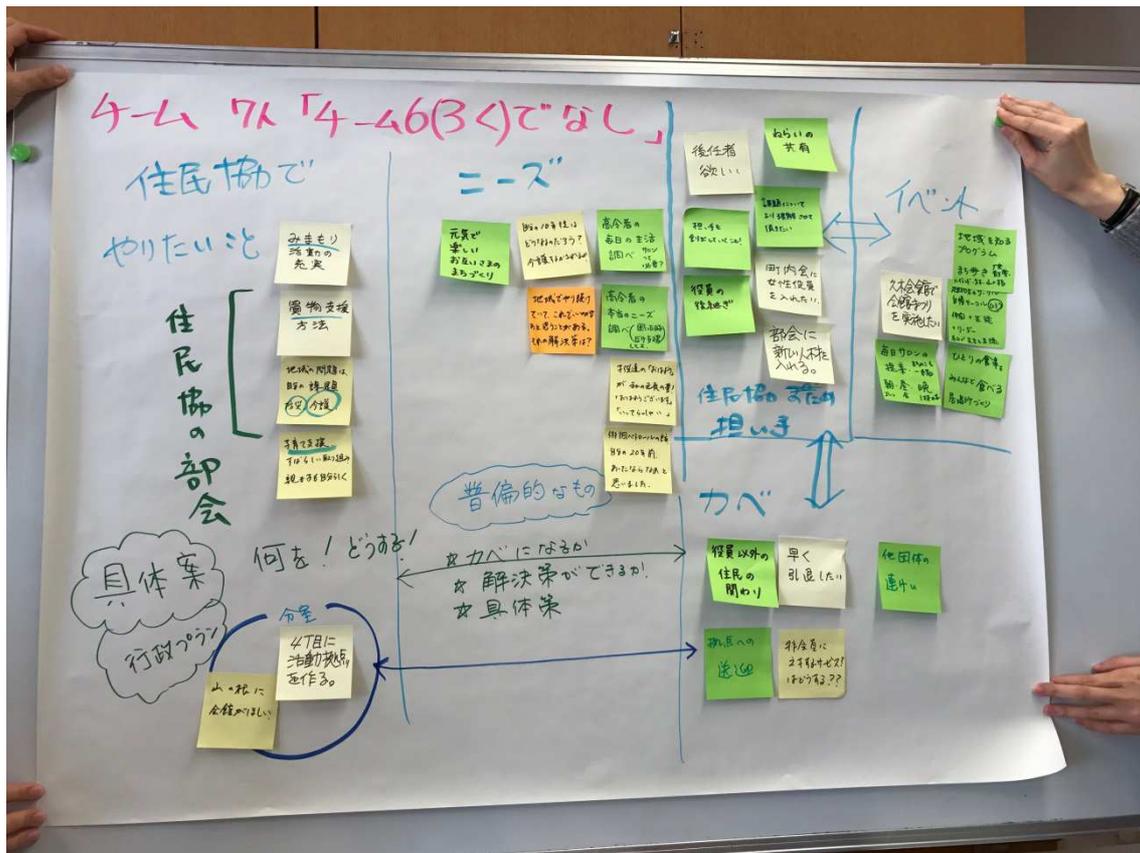
- 高齢男性のサロン
 - ・抱え込んでいる人たちに「ひとりじゃないよ」と伝える
- 顔見知り活動 **MSR**・・・向こう三軒両隣り
- 子育て世代の地域参加のすすめ
 - ・逗子や近隣で働きたい希望があるパパ・ママに仕事をつくろう
- 子どもたちの居場所づくり
 - ・放課後の子どもたちの居場所をつくろう（特に小学校高学年、中学生）
- スキルのある人の活用
 - ・個性的でスキルの高いパパ、キャリア豊かでエネルギーの大きなママを活用する
 - ・ボランティアの登録、「わたしにできること」の募集
 - ・一部の役員さんに役割が集中しないよう、皆で分け合う
 - ・みんなが支援者になる学習会（行政がサポート）

【越えなければならない壁、行政に求めるサポート】

- わかりやすい広報活動
 - ・広く地域住民にわかりやすく周知する
(住民自治協議会活動方針、行政が何をしているか等)
- GHJ**・・・「行政は、必要以上に邪魔をしない（地雷踏む）」
 - ・自分たちが主役
(行政は下から支える立場であって、決して行政の下請けをしていると思わないでほしい)
 - ・行政の仕事を多く持ち込まず、行政と無理なく進めていきたい
 - ・拠点の活発化を進めていきたい
- 個人情報保護
 - ・他人のプライバシーはどこまで踏み込んでいいのか

○その他

- ・ボランティア増員対策
- ・民生委員、児童委員のあり方
- ・費用の捻出



2. 「チーム7人で6（ろく）でなし」

《住民協でやりたいこと》

- ・見守り活動の充実
- ・買い物支援の方法についての検討
- ・地域の問題（防災、介護 etc）は、自分の課題と捉えること
- ・子育て支援（素晴らしい取り組み。親も子も自分らしく）
- ・久木4丁目に活動拠点をつくる。山の根にも会館が欲しい。

⇒これらは、住民協の部会とリンクしている！

《行いたいイベント》

- ・地域を知るプログラム（まち歩き、歴史散策 ハイランド・久木・山の根）
- ・久木会館で会館まつりを実施したい。
- ・趣味や自慢のサークルを披露する（仲間+生徒+リーダー…各々が先生と生徒）
- ・毎日サロンの提案（まちのこも一緒に）朝・昼・晩
- ・ひとりの食事をみんなで食べる居場所づくり

《ニーズ》

- ・元気で楽しいお互いさまのまちづくり
- ・自分の10年後はどうなるのだろうか？介護する側なのか、される側なのか。
- ・高齢者の毎日の生活調べ。サロンは必要か？
- ・高齢者の本当のニーズ調べ。
- ・地域で活動が続けていて、「これでいいのかな」と思うことがある。その解決策は？
- ・子ども達の「おはよう」が元気の源！
- ・徘徊パトロールの話。

《住民協の課題》

- ・ねらいの共有
- ・後継者が欲しい（役員の後継）
- ・課題についてより深く理解する
- ・担い手の創出
- ・町内会に女性役員を入れたい
- ・部会に新しい人材を入れる

《壁となっていること》

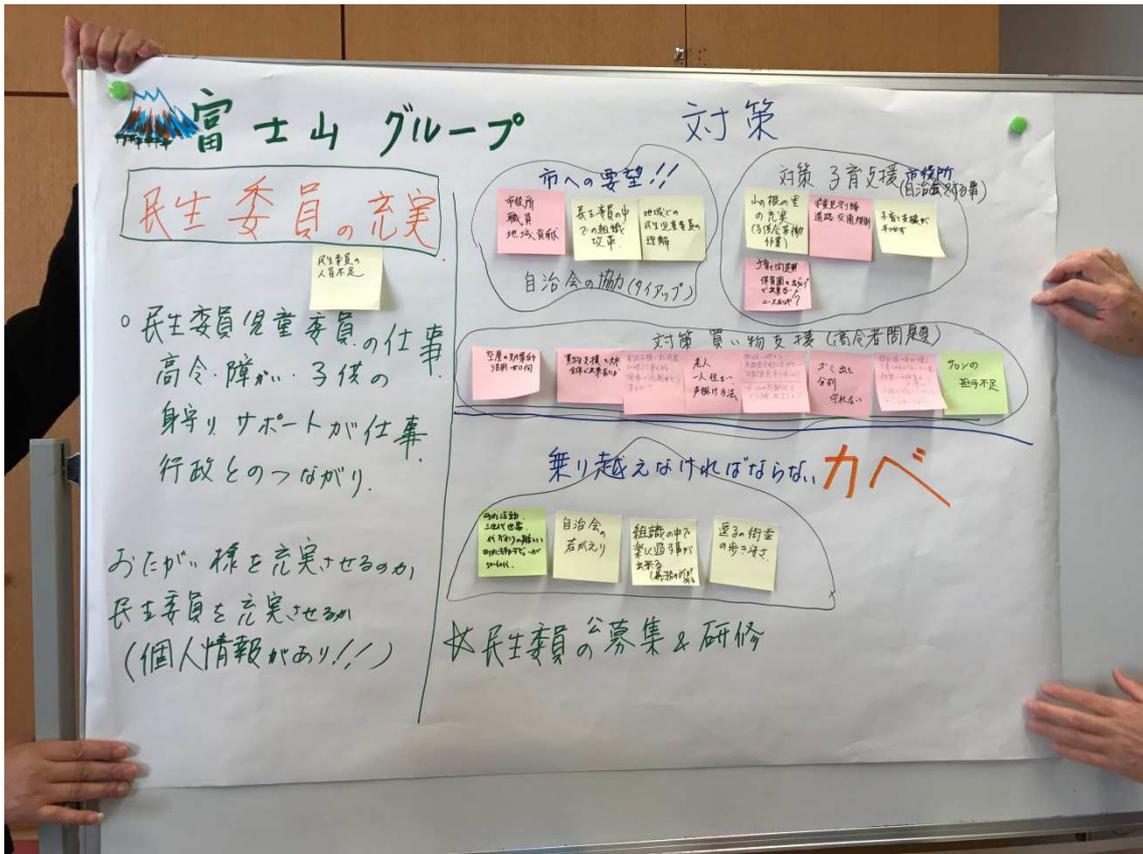
- ・役員以外の住民の関わりはどのようになっているのか？
- ・非会員に対するサービスはどうする？
- ・早く引退したい。
- ・活動拠点への送迎の問題

★住民協で、具体的に何を！どうするのか！？

具体的に行政のプランがあるはず、それをはっきりと示してほしい。

（地域に何を行ってもらいたいのか？（例）要支援1・2の人の面倒を見て欲しい？）

それをはっきりさせることで、具体的な解決策を地域でも検討していくことができる。



3. 富士山グループ

《課題》

- ・ 民生委員の充実（人員不足）

民生委員児童委員の仕事とは、高齢・障がい・子どもの見守り・サポートが仕事。行政との繋がりづくり。（個人情報取り扱いという課題あり）

⇒お互いさま活動を充実させるのか、民生委員活動を充実させるのか？

《市への要望》 自治会の協力（タイアップ）が必要！

- ・ 職員の地域貢献
- ・ 民生委員の中での組織改革
- ・ 地域での民生委員児童委員の周知、理解を図る

《子育て支援対策》 行政、自治会で行うこと

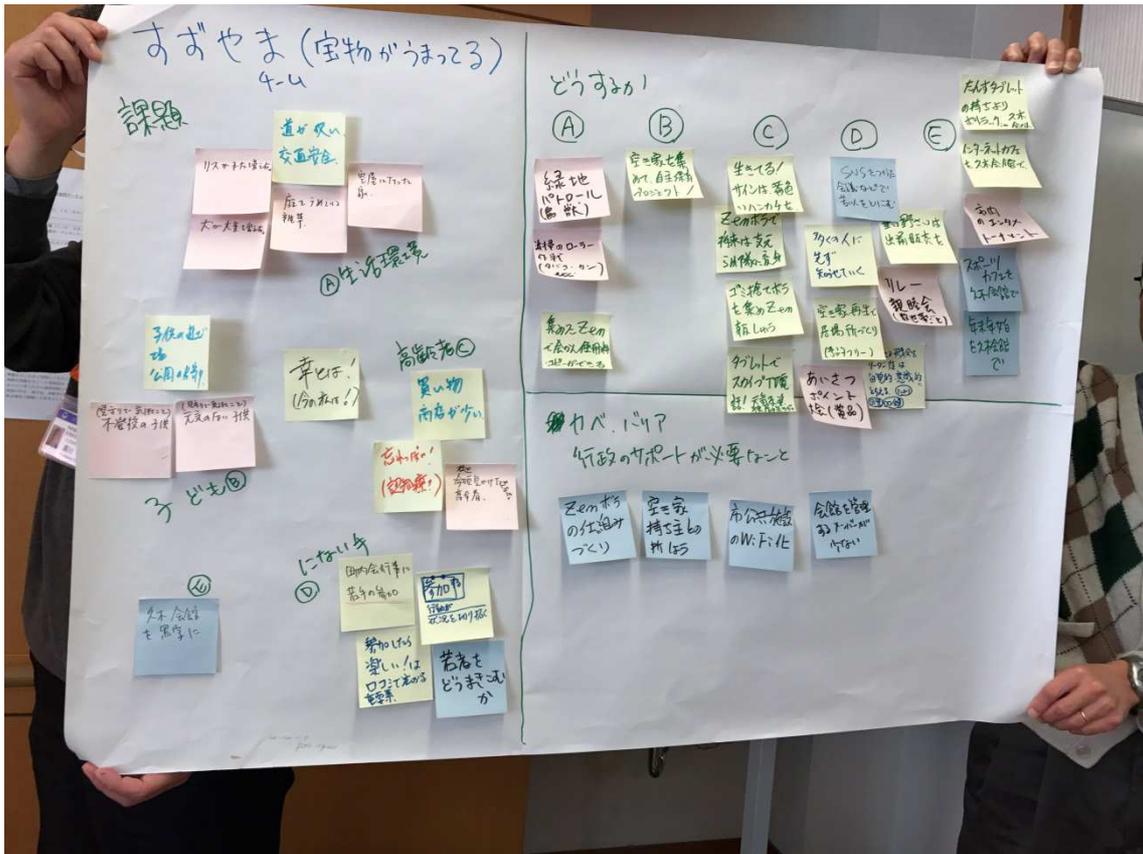
- ・ 山の根の里の充実（子ども会協働作業）
- ・ 児童見守り隊、道路交通規制
- ・ 子育て支援が手つかず
- ・ 保育園を各グループで出来ないか？

《高齢者問題（買い物支援）対策》

- ・空き家の効果的な活用
- ・買い物支援を久木全体でできないか
- ・買い物支援に利用者が増えてきた時、増車の問題をどうするか
- ・一人暮らし高齢者への声掛け方法
- ・一人住まいの方から高齢者全般に広げたい（高齢者見守りチーム）
- ・チームの高齢化をどう解決するか？
- ・ゴミ出し分別が守れない
- ・認知症の方が増えてきた時の徘徊者対策→捜索チームの増加？対象区域の広域化？
（その壁…自身が高齢化）
- ・サロンの担い手不足

《乗り越えなければならない壁》

- ・町内活動、三世帯世帯、代がわりが難しい。町内活動デビューが50～60代。
 - ・自治会の若返り
 - ・組織の中で楽しく過ごすことができる（今は、義務のところがある）
 - ・逗子の街並みの歩きやすさ
- ★民生委員の選任を、公募→研修→選定の流れで行ったらどうか？



4. すずやまチーム

課題

A 生活環境

道が狭い、リスがまた増えた、犬が大変増えた、庭をうめている雑草、空家になった家

B 子ども

子どもの遊び場公園の片寄り、不登校の子供、元気のない子供

C 高齢者

買い物商店が少ない、忘れっぽい（認知症）、見かけなくなった高齢者

D 担い手

町内会行事に若手の参加、（参加する）行動が状況を切り拓く、参加したら楽しい！は口コミで広がる重要素、若者をどうまきこむか

E その他

久木会館を黒字に、幸せとは！（今の私は！）

どうするか

A 生活環境

緑地パトロール（鳥獣）、清掃のローラー作戦（たばこ、カン etc.）、
集めたZen で会館使用料・コピーができる

B子ども

空き家を集めて自主保育プロジェクト！

C高齢者

生きてる！サインは黄色いハンカチを、Zen ボラで将来は支えられたいに変身、
ゴミ捨てボラを集めZen 報酬、タブレットでスカイプTV電話！元気な姿・独居の
生きがい

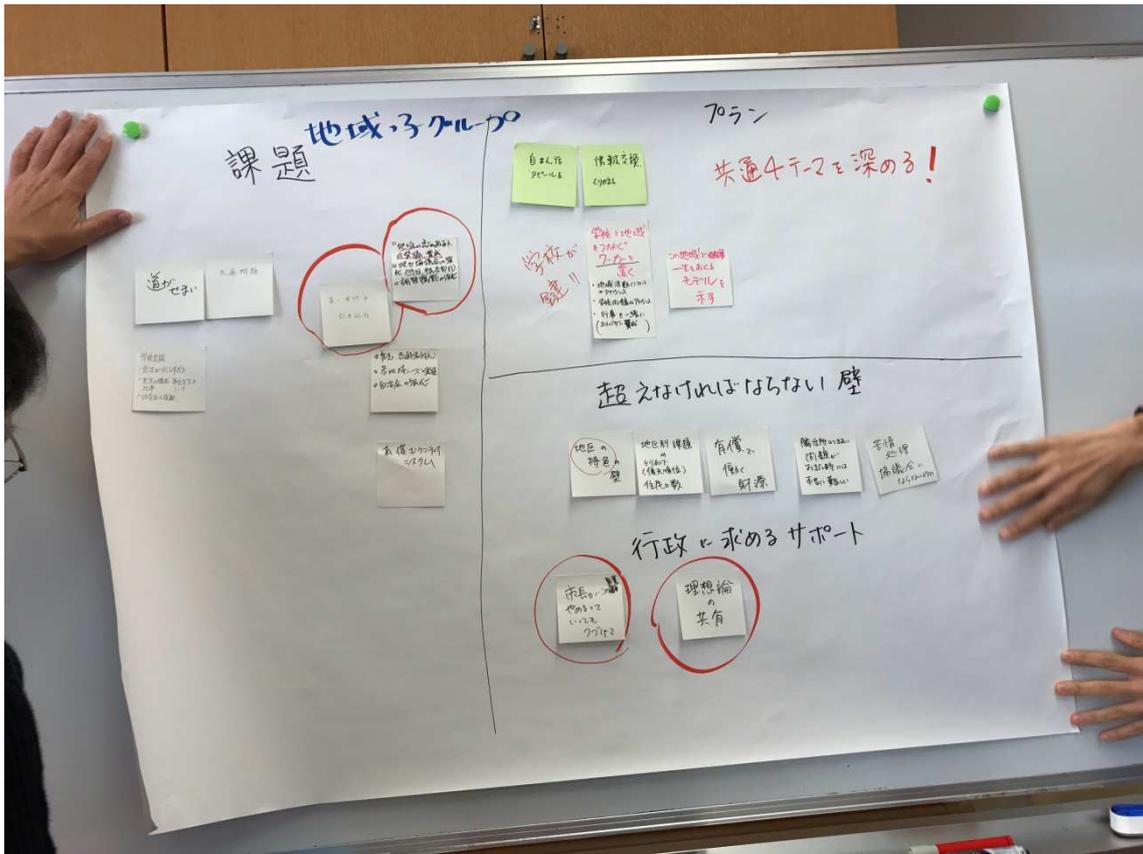
D担い手

SNSを使った会議などで若い人を取り込む、多くの人に先ず知らせていく、
空き家再生で居場所づくり（予約フリー）、あいさつポイント大会（賞品）、
重い野菜は出前販売を、リレー親睦会、
知らせる機会をリーダー役は自覚的・意識的にとらえる（たより・回覧・会合）

Eその他

たんすタブレットの持ち寄りポトラック in 久木会館、
インターネットカフェを久木会館で、市内のエンタメトーナメント、
スポーツカフェを久木会館で、年末年始を久木会館でかべ・バリア・行政のサポート
が必要なこと

Zen ボラの仕組みづくり、空き家持ち主との折衝、市公共施設のWi Fi 可、
会館を管理する職員が少ない



5. 地域っ子グループ

【課題】

- 道がせまい
- 交通問題
- 学校支援
 - ・先生が忙しすぎる
 - ・先生の構成比率（男女比1：3）
 - ・体育面の援助
- 地域に思いのある人の発掘、育成
- 協議会の強化
- 調整機能の強化
- 若い世代の取り込み
- 育児、高齢者対応
- 各地域ニーズの発掘
- 自治会の強化
- 有償ボランティアシステム

【プラン】

- 情報交換（自慢話アピール）
- 学校と地域をつなぐ（ワーカー等）
- 地域活動についてのアナウンス
- 学校問題のアナウンス
- 行事を一緒に行う
- この地域で一生を過ごすモデルを示す

【越えなければならない壁】

- 地区の特色の壁
- 地区別課題の取り上げ（優先順位）
- 有償で働く財源
- 隣近所の付き合い問題
- 苦情処理協議会にならないように

【行政に求めるサポート】

- 政治に左右されないサポート（継続性）
- 理想論の共有